

稲作だより

H27.12.18

コシヒカリ1等級比率95%以上！ 総括編

27年産米のJA柏崎の1等級比率は、コシヒカリで90.1%、こしいぶきでは昨年から向上して92.4%となりました。また、収量は8月の低日照が影響し、やや少ない年となりました。1等級比率95%以上を安定して達成するため、課題を整理しましたので、次年度に改善しましょう！

1 27年産米の概況

(1) 品質

◎コシヒカリ… 昨年に続き、90%台を確保しました。

8月中旬からの低温・低日照による「除青未熟」が最も多い格落ち要因でした。また、平場の一部では8月25～26日のフェーン風の被害による心白粒が、中山間地では登熟不良による格落ちがみられました。

◎こしいぶき… 昨年の1等級比率75.6%から持ち直し、92.4%へ回復しました。

格落ちの要因は、莖数過剰などによる除青未熟などです。

こしいぶきは昨年に比べ品質向上！



【表1 JA柏崎1等級比率】

品種名	H27	H26	H25
コシヒカリ	90.1%	96.8%	81.0%
こしいぶき	92.4%	75.6%	92.9%
越路早生	95.6%	91.9%	97.3%
うるち全体	90.9%	87.5%	86.1%

(H27:11月30日現在)

【表2 格落ち要因】

品種名	1位	2位	3位
コシヒカリ	除青未熟	心白	基部未熟
こしいぶき	除青未熟	背白	基部未熟 部分カメ

※格落ち要因の説明

除青未熟…青未熟粒以外の未熟粒や充実不足粒等が混発したもの

心白…粒の中心部に白色不透明な部分があるもの

【表3 支店別1等級比率】

品種名	中央柏崎	南部高田	東部田尻	北部西中通	高柳	刈羽	西山
コシヒカリ	95.3%	93.2%	77.2%	86.5%	80.8%	92.6%	93.1%
こしいぶき	97.7%	96.1%	89.5%	88.8%	92.1%	94.6%	95.2%

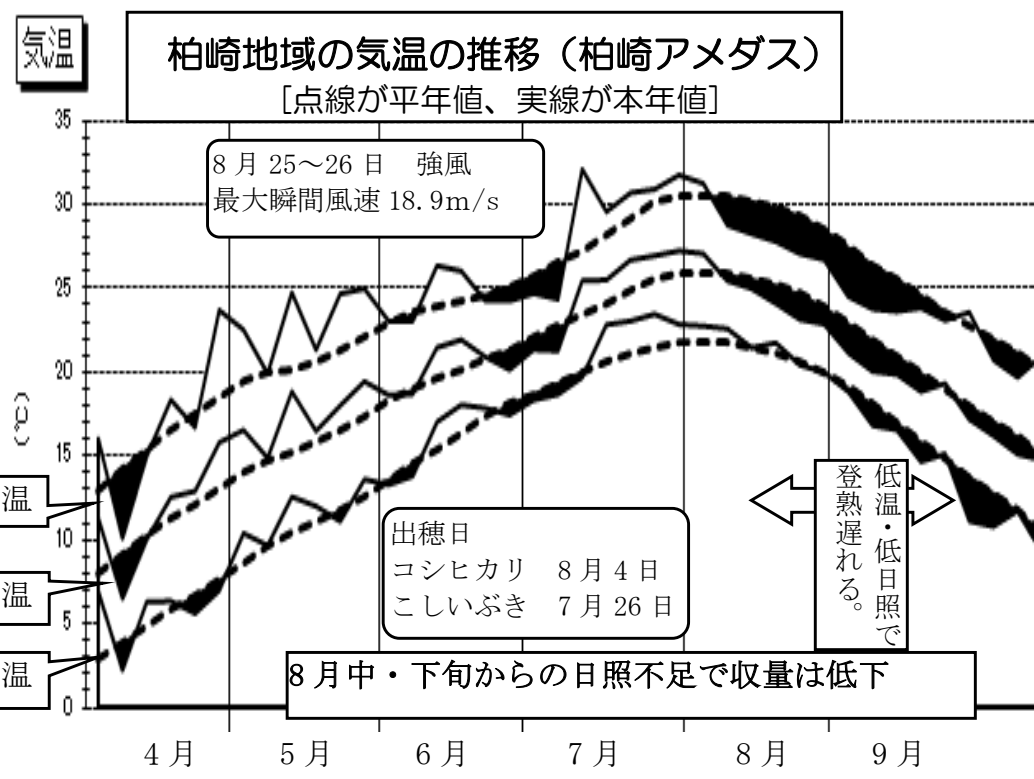
安田・中鯖石・北条地区でフェーン風の被害が一部ありました。

(2) 収量

JAが行った農業者への聞き取りでは、30～60kg/10aの減収となった事例が多く聞かれました。

コシヒカリ・こしいぶきともにm²あたりの籾数が多く、格落ち要因でも除青未熟(表2参照)が多いことから、登熟期間の粒の太りが悪く減収につながったと思われます。

一方、土づくりを続けている農業者では減収しなかったという事例もあります。近年の不安定な気象では、安定した収量・品質を確保するために土づくりの継続が重要になっています。



2 次年度に向けた対策 ～ 1等米95%以上を目指すイネづくり ～

◎品質向上・安定生産のためには、技術対策を確実に実践することが重要です。今年の結果から課題を整理し、技術対策と照らし合わせ、早めに計画を立てましょう。

課題	技術対策
初期生育の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・健苗育成 ・適切な基肥量の施用 ・一時落水（夜干し）の実施 ・弁当肥の施用
[最重点] 中干しによる確実な生育制御	<ul style="list-style-type: none"> ・田植え後30日までの確実な中干し開始 ・土質と地域に応じた中干しの実施 ・溝切りの実施
出穂期の葉色低下の防止と適正な穂肥施用	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な穂肥施用 ・高温時の基肥一発肥料施用ほ場の追加穂肥検討 ・早生では必要に応じ化成肥料を活用
地耐力を維持した登熟後半までの飽水管理の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・出穂30日後まで飽水管理（乾かさない） ・溝が浅くなった場合は再度溝切りし排水促進 ・重粘土地帯での地耐力を維持する水管理
病虫害防除の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・斑点米カメムシ対策としての農道畦畔、水田内の除草と除草剤の適期防除 ・前年度多発したほ場でのいもち病、紋枯病防除 ・飼料用米の予防防除の徹底
土づくりによる登熟後半までの稲体活力維持	<ul style="list-style-type: none"> ・稲わらの秋すき込み ・堆肥、土づくり資材、<u>籾殻の施用（ケイ酸の補給）</u> ・作土深の確保（目標15cm）

◎関係機関のサポート体制 ～みなさんが品質向上対策技術を確実に実践できるよう、関係機関も全力をあげて支援します。～

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| ① 技術情報を適期に、迅速に提供します。… | 緊急時は全戸に配布、看板やメール等でも情報伝達 |
| ② 重点的な指導を実施します… | 重点地区・対象を定め、きめ細やかな指導を実施 |
| ③ 地域一丸の取組体制づくりをします… | 地域ぐるみの取組に向け、各種研修会を実施 |
| ④ 環境に優しい米づくりを支援します… | 地域条件を踏まえた5割低減栽培技術の実施 |

3 お知らせ

◎H28年度新潟県特別栽培農産物認証制度（米）申請のお知らせ

柏崎市役所・刈羽村役場が窓口で、提出期限は2月1日までとなっています。申請する方はお早めにご連絡・提出をお願いいたします。

【新潟県特別栽培農産物認証制度（JA柏崎管内）】

年度	取組者数（人）	取組面積（ha）
H25年	240	700
H26年	270	760
H27年	263	856

◎飼料用米の取組み支援

・コシヒカリ並の所得を確保するため、H28年も「新潟次郎」等の多収性専用品種の多収穫栽培を支援します。

・実証ほ実績 岩上ほ場 出荷数量：772kg/10a 基準単収+220kg
田尻ほ場 出荷数量：666kg/10a 基準単収+122kg

	H27	H26
取組者数（人）	155	64
取組面積（ha）	180	63.7
平均単収（kg/10a）	629	518

◎柏崎・刈羽地域農業者大会を開催します。

- ・日 時 … 平成28年2月1日（月）午後1時15分から4時15分まで
- ・場 所 … 柏崎市文化会館 アルフォーレ
- ・内 容 … 講演「TPP協定合意の影響と対策等について（仮題）」
 水稻晩生新品種「新之助」の生産対策と試食

【お問い合わせ先】

全地区共通

JA 柏崎営農指導課 21-2095

柏崎農業普及指導センター 21-6263

南部高田、中央柏崎地区

JA 南部高田支店 22-5165

東部田尻、北部西中通地区

JA 東部田尻支店 35-8188

高柳地区

JA 高柳支店 41-2244

西山、刈羽地区

JA 刈羽支店 45-2255

柏崎地域農業振興協議会

柏崎市、刈羽村、中越農業共済組合、柏崎農業協同組合、柏崎土地改良区
柏崎農業普及指導センター（柏崎地域振興局農業振興部）